

個別支援学級（わかば級・のぞみ級）生活単元学習の実践

1 単元名 「お楽しみ会をしよう！～みんなでポップコーンパーティー～」(全 25 時間 本時 20 時間目)

2 単元目標

- お楽しみ会に向けて、飾りや景品づくり、ポップコーンやお茶などの調理を楽しむことができる。
- 司会や準備などの活動に参加することができる。
- よりよいお楽しみ会にするために、思いや考えを伝え合いながら活動することができる。

3 「ひびき合う三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題・・・子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成
手立て・・・子どもの思いや願いを見とった単元構想と授業づくり
ブロックテーマ・・・「感じる心・気持ちを伝える自分」

4 単元と指導

〈単元について〉

本単元は、昨年度実施した「カフェを開いてお家の人を招待しよう」という生活単元学習から継続して行っているお茶会を発展させた活動である。

個学の児童は昨年度、カフェを開いて保護者を招待する学習を行っている。調理や接客、看板や飾り、メニュー表作りなどに取り組んだ。昨年度、お茶会やカフェをした経験から、今年度は、個学のみなでお茶会やお楽しみ会をしたい、と話している児童もいる。個学全体では、一昨年度のバザーや昨年度のカフェなどの経験から、今年度も、個学全員で協力して楽しい会を開きたいという気持ちがある。夏に畑で育てたポップコーンを使って、個学全体でポップコーンパーティーをしたいという声もあがっている。お楽しみ会に向けた活動では、児童が「友だちと楽しくおいしいものを食べたい」「個学みんなで仲良く遊びたい」という目的意識をもって学習に向かう姿が期待できる。また、この学習では、調理、司会、飾り作りなど、さまざまな役割があるため、児童が自分の興味・関心や得意なことに合わせて、自分の役割を果たすことができる。その過程で、児童はそれぞれにもっている自立活動上の課題を達成できると考えられる。以上のことから、本題材を設定した。

〈指導について〉

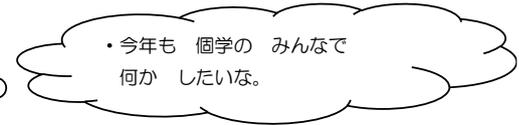
個学児童は、1年生から6年生まで実態が様々であるため、本単元での取り組みは、個々の発達段階によって異なる活動内容になると予想される。そこで、上学年の児童が、自分が身に付けた技能を伝えたり、他の児童を手伝ったりする活動が展開されるように指導したい。例えば、下級生でも分かりやすい遊びのルールを工夫したり、下級生でも楽しめるよう優しく声を掛けたりするなどである。自力で活動することが難しい児童へは、自分が作りたいものを選んだり、サポートを受けながら作ったりする活動を通じて、ものづくりやみんなで一緒に活動する楽しさを体験する機会をつくりたい。また、児童の実態により、言葉での指示の理解が難しい児童もいるため、イラスト入りのカードやお店屋さん体験によって楽しく関わられるように指導していきたい。

本時に子どもたちが解決したい問題は、「個学のみなでなかよくお楽しみ会をするには、どうしたらいいかな？」である。本時では、**お楽しみ会の練習を通して、教師や友だちとコミュニケーションをとる姿**をひびき合いの姿としたい。

5 単元構想 生活単元学習「お楽しみ会をしよう！～みんなでポップコーンパーティー～」（全25時間 本時⑩時間目）

単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○お楽しみ会に向けて、飾りや景品づくり、ポップコーンやお茶などの調理を楽しむことができる。 ○司会や準備などの活動に参加することができる。 ○よりよいお楽しみ会にするために、思いや考えを伝え合いながら活動することができる。
------	---

昨年度の学習	<ul style="list-style-type: none"> ○カフェを開いて家族を招待した。（個学全員） ○カフェに家族を招待するために、接客の練習をした。（個学全員） ○ポップコーンやジャムパイなど簡単な調理をした。（個学全員） ○飾りや看板の制作をした。（個学全員）
--------	--



<p>クラス目標に向けて、何ができるかな？①</p> <p>「なかよくできる たのしい うれしい わかば」（わかば級1, 2組）</p> <p>「たのしいクラス～みんなにやさしく・べんきょうはしっかり・やってみよう！のきもち～」(のぞみ級1組)</p> <p>「みんなであそび いっしょに べんきょうする クラス」(のぞみ級2組)</p> <p>「いっぱい 楽しさ あいさつ 元気 やさしさ 笑顔」(のぞみ級3組)</p> <p>「がっこうって たのしいね」(ひかり級)</p>

<p>○よりよい学級にするために、思いや考えを伝え合うことができる。（思考・判断・表現）</p>	<p>わかば級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年も畑で個学を盛り上げたいな。 ・今年もみんなでお茶会をしたいな。 ・おいしいものを食べたい。 ・調理実習をしたい。（おにぎり、おみそしるなど） ・お楽しみ会をしたい。 ・歩いてお出かけをしたい。 	<p>のぞみ級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習をしたい。 ・お楽しみ会をしたい。 ・畑で野菜を育てたいな。 	<p>・昨年度の活動の写真を見せることで、みんなでがんばったことや楽しかった活動を思い出せるよう支援する。</p>
--	---	---	---

畑で何を育てようかな？②③

<p>○畑で育てたい野菜について、思いや考えを伝え合うことができる。（思考・判断・表現）</p>	<p>わかば級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年もポップコーンを育てたい。 ・みそ汁に入たらおいしい野菜がいいな。 ・トマトが好き。 ・はつか大根が楽しかったから、また育てたい。 ・みんなが食べられる野菜がいいね。 ・梅干しに入れる赤しそを育てたい。 	<p>のぞみ級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーンを育てたい。 ・スイカを育ててみたい。 ・大根も育てたいな。 ・オクラってどう育つんだろう？ ・ピーマンはあまり好きじゃないけど、育ててみたいな。 	<p>・昨年度育てた野菜を参考にしたり、今年度どんな活動をしたいか考えたりしながら、育てたい野菜を考えるよう促す。</p>
--	---	--	---

野菜を大きく育てるにはどうしたらいいだろう？④～⑩

<p>○草むしりや種まきなどの活動に参加することができる。（主体）</p> <p>○野菜を育てることを楽しむことができる。（知・技）</p>	<p>わかば級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草むしりをしたら、野菜が大きくなれるよ。 ・土をふかふかにしよう。 ・肥料を混ぜよう。 ・石があると大きくなれないよ。 ・種まきうれしいな。 ・早く大きくなあれ。 ・<u>のぞみの畑も元気に野菜が育っているね。</u> ・<u>のぞみの畑でもポップコーンを育てているね。</u> 	<p>のぞみ級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水やり楽しいな。 ・土の中にミミズがいたよ。 ・スイカが大きくなるのが楽しみ。 	<p>・昨年度、どうしたら野菜が元気に育ったか思い出しながら活動できるよう、写真などを見せながら話し合いを行う。</p>
--	---	--	--

畑で育てた野菜は、どんな味がするかな？⑪⑫

「味噌きゅうりを食べよう！」(わかば級)

「夏野菜ピザを作ろう！」(のぞみ級)

<p>○夏野菜パーティーの準備や計画、調理ができる。（知・技）</p>	<p>わかば級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑で育てたきゅうりと手作りの味噌と一緒に食べたいな。 ・とれたてでおいしいね。 ・包丁を使うときは、ゆっくり集中。 ・バリバリしてるね。 ・<u>ポップコーンは、のぞみの友だちと一緒に食べたいな。</u> 	<p>のぞみ級</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家でサラダにしてトマトを食べたよ。また持って帰りたいな。 ・ピーマンは焼きそばにして食べたよ。今度持って帰ったらまた焼きそばにして食べたいな。 ・ポップコーンは映画館みたいにして食べたいな。 ・スイカも早く大きくなあれ。 ・みんなでポップコーンパーティーをしたいな。 	<p>・夏野菜の収穫を友だちと一緒に喜び合えるよう、一緒に調理し味わう時間を設ける。</p> <p>・味覚に過敏さがある児童でも楽しめるよう工夫する。</p>
-------------------------------------	---	--	---

↓ ↓

個学のみならずなかよくお楽しみ会をするには、どうしたらいいかな？

計画⑬⑭

準備⑮～⑳

本番㉑㉒

わかば級⑬⑭

- ・みんなが食べられる味のポップコーンにしたいと思う。
- ・食べるだけでなく、遊ぶ時間もあつたらいいな。
- ・飾りを作りたい。
- ・のぞみの友だちと一緒に遊びたい。

のぞみ級⑬⑭

- ・わかばの友だちとも一緒に遊びたい。
- ・去年みんなで遊んで楽しかった。
- ・みんなでいろいろな味のポップコーンが食べたい。

→ 個学全体⑮

- ~~・1年生に遊びのルールを教えてあげたい。~~
- ~~・友だちの景品がすてきだから真似したい。~~
- ~~・遊びたい遊びをみんなに聞いてみたい。~~
- ・折り紙をたくさん折りたい。

- ~~・景品がもらえたらうれしいな。~~
- ・曲を流したい。
- ・いすとりゲームをしたいな。

司会進行係 ⑮～⑲	プログラム係 ⑮～⑲	遊び係 ⑮～⑲	飾り係 ⑮～⑲	いただきます係 ⑮～⑲
・みんなが楽しめるように司会をしたい。	・みんなが見やすい文字を書きたい。	・小さい子でもできる遊びは何かかな。	・輪飾りを作りたい。	・ポップコーンを友だちに渡したい。
・マイクを使うと、声がみんなに聞こえる。	・どんな順番にしようかな。	・みんなに何の遊びをしたいか聞いてみたい。	・お花の飾りを作りたい。	・みんなに聞こえる声で「いただきます。」と言いたいな。
・上手に言えるように、せりふを練習したいな。	・司会の人と協力して考えたい。	・人数が多いと大変だから、半分ずつ遊んだらいい。	・12月だから、クリスマス飾りを作りたい。	・何味のポップコーンにするかアンケートをとりたいな。
・リハーサルをしたい。		・あまり大きな音が出ない遊びは何かかな。	・飾りでお楽しみ会を盛り上げたいな。	

○よりよいお楽しみ会にするために、思いや考えを伝え合うことができる。
(思考・判断・表現)

○パーティの準備や計画、調理ができる。(知・技)

○司会や準備などの活動に参加することができる。(主体)

・みんなが仲良く楽しく参加できる活動になるよう、話し合いの前に、個学には様々な友だちがいることを押さえる。

・動画や写真で活動内容を確認できるようにする。

・野菜を世話した様子を振り返ることで、達成感やおいしさをより味わえるようにする。

個学全体⑳ (本時) お楽しみ会リハーサル

- ・人数が多くて遊びづらかった。
- ・言葉が早かったから、もっとゆっくり話したらいいと思った。
- ・ルールが分かりづらいところがあったから、小さい子でも分かるように工夫したい。
- ・音が大きくてびっくりしちゃったから、音を小さくしてほしい。
- ・飾りをもっと作りたかった。

司会進行係⑳	プログラム係⑳	遊び係⑳	飾り係⑳	いただきます係⑳
・分かりやすくゆっくり話す練習をしよう。	・プログラムの順番を書き換えよう。	・人数が多いと大変だから、半分ずつ遊んだらいい。	・窓にも飾り付けをしたら楽しい感じになりそう。	・袋に入れて渡したら、こぼさずに食べられそう。
・マイクの音量はもう少しがいいと思う。	・司会の人にも聞いてみよう。	・大きな音が出ない遊びを考えよう。	・輪飾りをもっと増やしたい。	・のどが渇くから、水筒を持ってきてもらおう。

個学全体㉑ 調理計画、調理実習

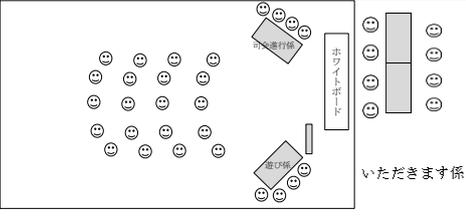
- ・食べられない味付けだとかわいそうだから、何種類か味を用意したいな。
- ・味見してみよう。
- ・がんばってポップコーンを育ててよかったな。
- ・おいしいね。
- ・お楽しみ会が楽しみな。
- ・また、来年も個学のみならず調理実習をしたい。

個学全体㉒ お楽しみ会本番

- ・なかよくお楽しみ会ができてうれしかった。
- ・また、個学のみならずお楽しみ会をしたいな。
- ・なかよく遊べた。
- ・次は、違う係もやってみよう。
- ・飾りがすごくきれいだった。
- ・1年生が楽しく遊べてよかった。

6 本時の学習

- (1) 本時の目標：お楽しみ会の練習を通して、教師や友だちとコミュニケーションをとることができる。
- (2) 個別の目標：(別紙3参照)
- (3) 本時の展開

学習活動					主な支援・留意点・【評価】	
<p>おたのしみかいの れんしゅうを しよう！ ～個学のみんでなかよくお楽しみ会をするには、どうしたらいいかな？～</p> 					<p>☆なかよく おたのしみかいを するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会係、遊び係 みんなに きこえるこえで ゆっくりはなす。 ・いただきます係 お友だちに 「どうぞ」と言ってポップコーンを わたす。 ・かざり係、プログラム係 お友だちの はなしを よくきく。 ・みんな ともだちの めをみて やさしく 話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をふりかえり、本時の活動を確認する。 ・めあてと学習の流れを提示し、見通しがもてるようにする。 ・友だちと話す際のポイントについて、言葉カード提示しておく。 ・一緒に活動することが難しい児童とは、話し合っって参加の仕方を一緒に考え、支援する。 <p>教師の出どころ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だち同士のコミュニケーションが困難な時は、個に合わせた支援をする。 ・子どもの発言したことやつぶやきから、子どもの感じていることや気持ちを汲み取り、振り返りにつなげる。 <p>【評価】別紙3参照</p>
司会進行係	遊び係	いただきます係	飾り係	プログラム係		
<ul style="list-style-type: none"> ・これからお楽しみ会を始めます。 ・〇係の人、お願いします。 ・ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを説明します。 ・座ってください。 ・やって見せます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーンを渡す。 ・いただきますの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハーサルに参加する。 ・お楽しみ会本番のイメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの順番がよいか考える。 ・プログラムが見やすいか。 		

本時の流れ

時間	教具	活動の流れ	概要	子どもの動き	教員、支援員の動き
5分	テレビ	①おはなしを きく。	T1 からリハーサルの説明 ・目的だれのため、何のためにするのか。 ・活動の流れ ・最後に振り返りをする事。 ・なかよく活動するコツを押さえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・T1 の話を聞く。 ・質問がある時は、最後に手を挙げて聞く。 ・リハーサルの目的と流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童への支援
30分		②リハーサル 1,はじめの ことば 2,あそびA あそびB 3,ポップコーンをたべよう。 4,あそびC あそびD 5,おわりの ことば	司会進行係にバトンタッチ	<ul style="list-style-type: none"> ○司会進行係 ・司会進行をする。 ○遊び係 ・遊びのルール説明や指示をする。 ○いただきます係 ・ポップコーンを配る準備をする。 ・いただきますの挨拶をする。 ○飾り係 ・リハーサルに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リハーサルに参加できない児童への対応。 ・トラブルがあれば、仲裁。 ・それぞれの係の児童への支援。
10分	ボード	③ふりかえり	リハーサルの感想や今後に向けての意見 ・楽しかった。 ・お楽しみ会が楽しみ。 ・みんなでポップコーンを作りたい。 ・司会の人の話し方がよかった。 ・遊び係がお手本をしてくれて分かりやすかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・感想がもてる。 ・よくなかったところがある時には、「もっとこうしたらいい。」と代替案も伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童のつぶやきを拾って、励ます。 ・新しいアイデアがある児童には、批判的な口調にならないよう、言い方を教える。

7 実践を終えて

<成果>

・子どもたちの振り返りより

- ・マイクがあったらよかった
- ・もっと司会の練習をしたい。
- ・時間があつたらもっと遊びを楽しめる。
- ・もう一度遊びのルールを相談したい。
- ・サイレント鬼の時、逃げる範囲を確認した方がいい。

など、前向きな意見が多くみられ、リハーサルをしたことで、「どうすれば楽しい会になるか」をもとにひびき合いながら話し合うことができていた。

- ・言葉でのコミュニケーションが難しい児童も、まわりの子を見ながら挙手したり、みんなと同じ活動ができたりしたのでよかった。

<課題>

- ・交流等あり、なかなかそろわず全員が毎回準備に参加することができないため、司会の練習などが難しい。
- ・リハーサルに1時間設定したが、児童に任せるだけではうまくいかず、教師が声をかけることになる。そのバランスが難しい。
- ・いろいろな理由でリハーサルにもお楽しみ会本番にも参加することができず別室で過ごす児童がいるので、その場で参加できなくても違う形でお楽しみ会に関わることができるとよい。